

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年3月6日

計画の名称	17. (上越市) 子どもたちが安全で安心して通学できる「すこやかなまち」																											
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)			交付対象	上越市																							
計画の目標	全国各地で登下校中の児童や生徒が巻き込まれる交通事故が相次いでいる中、上越市でも少子高齢化の到来や、車社会による交通量の増加により、通学路を含めた歩行者への危険度が増していることから、通学路の安全を図るため、必要な対策を講じることにし、子どもたちだけでなく高齢者など誰もが安全で安心して生活することができる「すこやかなまち」を目指す。																											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 「通学路の点検と整備」に対する市民満足度を33.9% (H22) から40.0% (H29) に増加させる。 平成24年度「通学路の緊急合同点検」における要対策箇所について、対策完了率を80%とする。 「上越市通学路安全対策プログラム」に基づく通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。 																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H26末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 市民アンケート調査における「幼稚園、小中学校の施設や通学路の点検と整備」の設問に対し、「満足している」または「ほぼ満足している」と回答した市民の割合。</td> <td>33.9%</td> <td>-</td> <td>40.0%</td> <td rowspan="3">平成24年度「通学路の緊急合同点検」に基づく通学路の要対策箇所における対策 「上越市通学路安全対策プログラム」に基づく通学路の要対策箇所における対策</td> </tr> <tr> <td>② (対策完了率) = (対策完了箇所数) / (要対策箇所数) × 100% 市道における通学路の要対策箇所数=41箇所</td> <td>63.0%</td> <td>-</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>③ (対策完了率) = (対策完了箇所数) / (要対策箇所数) × 100%</td> <td>28.6%</td> <td>-</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H29末)	① 市民アンケート調査における「幼稚園、小中学校の施設や通学路の点検と整備」の設問に対し、「満足している」または「ほぼ満足している」と回答した市民の割合。	33.9%	-	40.0%	平成24年度「通学路の緊急合同点検」に基づく通学路の要対策箇所における対策 「上越市通学路安全対策プログラム」に基づく通学路の要対策箇所における対策	② (対策完了率) = (対策完了箇所数) / (要対策箇所数) × 100% 市道における通学路の要対策箇所数=41箇所	63.0%	-	80.0%	③ (対策完了率) = (対策完了箇所数) / (要対策箇所数) × 100%	28.6%	-	80.0%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H29末)																									
① 市民アンケート調査における「幼稚園、小中学校の施設や通学路の点検と整備」の設問に対し、「満足している」または「ほぼ満足している」と回答した市民の割合。	33.9%	-	40.0%	平成24年度「通学路の緊急合同点検」に基づく通学路の要対策箇所における対策 「上越市通学路安全対策プログラム」に基づく通学路の要対策箇所における対策																								
② (対策完了率) = (対策完了箇所数) / (要対策箇所数) × 100% 市道における通学路の要対策箇所数=41箇所	63.0%	-	80.0%																									
③ (対策完了率) = (対策完了箇所数) / (要対策箇所数) × 100%	28.6%	-	80.0%																									
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,462百万円	A	3,462百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上越市 (都市整備部道路課)	令和2年1月
	公表の方法
	上越市HP上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
17-A1	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(他)新光町三丁目5号線(直江津南小学校)	現道拡幅 L=0.15km W=4.0(5.5)m	上越市						4	
17-A5	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(他)有間川橋国道線(谷浜小学校)	橋梁架替 L=0.08km W=4.0(6.0)m	上越市						639	
17-A6	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(2)大原和田線(安塚小学校)	橋梁架替 L=0.17km W=4.0(6.0)m	上越市						121	
17-A7	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	交安	(1)松崎安塚上方線(安塚小学校)	歩道整備 L=0.79km W=2.5m	上越市						106	
17-A9	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(1)柳島棚田線(牧小学校)	歩行空間の確保(幅員拡張)、橋梁架替 L=0.23km W=6.5(7.0)m	上越市						316	
17-A10	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(1)川西北部線(牧小学校)	歩行空間確保(幅員拡張) L=0.63km W=4.0(6.0)m	上越市						121	
17-A31	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(他)港町一丁目4号線ほか(古城小学校)	歩行空間確保のための側溝修繕 L=3.40km	上越市						119	
17-A32	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(他)鴨島団地環状線ほか(稲田小学校)	側溝整備 L=1.12km	上越市						33	
17-A34	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(他)安江団地7号線ほか(春日新田小学校)	歩行空間確保のための側溝修繕 L=2.03km	上越市						99	
17-A35	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(2)仲町線ほか(大手町小学校)	歩行空間確保のための側溝修繕 L=2.83km	上越市						102	
17-A44	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(他)下吉田地2号線ほか(南川小学校)	側溝整備 L=2.35km	上越市						93	
17-A56	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	交安	(1)寺町下箱井線(和田小学校)	交差点改良 N=1箇所	上越市						6	
17-A57	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(他)御殿山町若竹寮線(飯小学校)	道路改良 L=0.31km W=4.0(9.0)m	上越市						90	
17-A59	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(他)安塚古町線(安塚小学校)	歩道整備 L=0.15km	上越市						12	
17-A62	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	改築	(1)柳ヶ崎直海浜線(下黒川小学校)	現道拡幅 L=0.1km W=4.0(5.0)m	上越市						48	
17-A71	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	交安	(他)針東町線(針小学校)	交差点改良 L=0.02km	上越市						7	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		道路事業が促進され、通学路の安全性の向上につながった。		
II 定量的指標の達成状況	指標①「通学路の点検と整備」に対する市民満足度	最終目標値	40.0	目標値と実績値に差が出た要因 平成26年に実施した市民アンケートから当該項目が削除されたため計測できなかった。 【参考】平成22年度に実施した市民アンケートでは市民満足度は33.9%
		最終実績値	計測不能	
	指標②通学路の要対策箇所対策完了率	最終目標値	80.0	目標値と実績値に差が出た要因 通学路合同点検の実施、対策の検討、対策の実施、対策効果の把握、その結果を踏まえた対策の改善・充実を一連のサイクルとして取り組み、要対策箇所を着実に改善してきたことにより、最終目標値を達成している。（対策必要件数41箇所、対策完了件数39箇所）
		最終実績値	95.1	
	指標③「安全対策プログラム」通学路の要対策箇所の対策完了率	最終目標値	80.0	目標値と実績値に差が出た要因 要対策箇所を着実に改善してきたことにより、最終目標値を達成している。（対策必要件数20箇所、対策完了件数20箇所）
		最終実績値	100.0	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項（今後の方針等）				
<ul style="list-style-type: none"> 今後も道路事業を促進し、通学路の安全性の向上を図り、子どもたちが安全で安心に通学できる「すこやかなまち」を目指す。 本計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き次期計画で事業を実施し、早期に効果が発現するよう事業を促進する。 今後も定量的指標により事業効果の発現状況を計測していくとともに、そのほかの事業効果を評価するために計画変更時に別途新たな成果目標を設定することとする。 				

